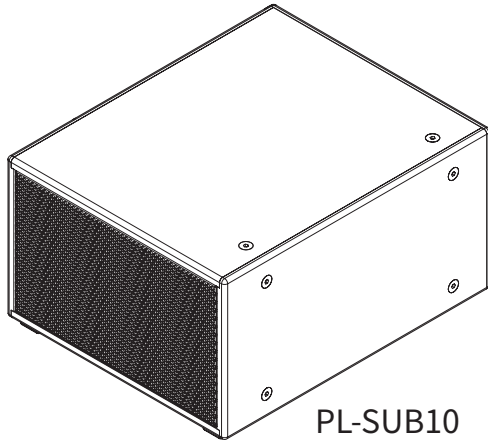
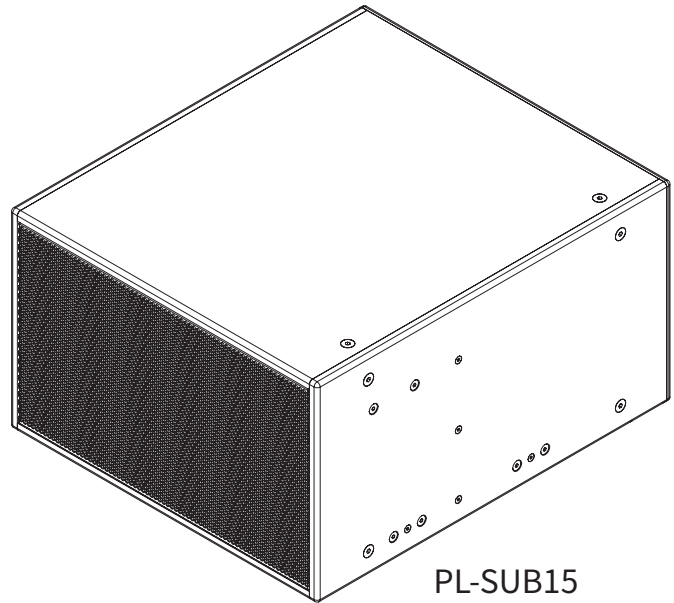


PL-SUB シリーズユーザーマニュアル

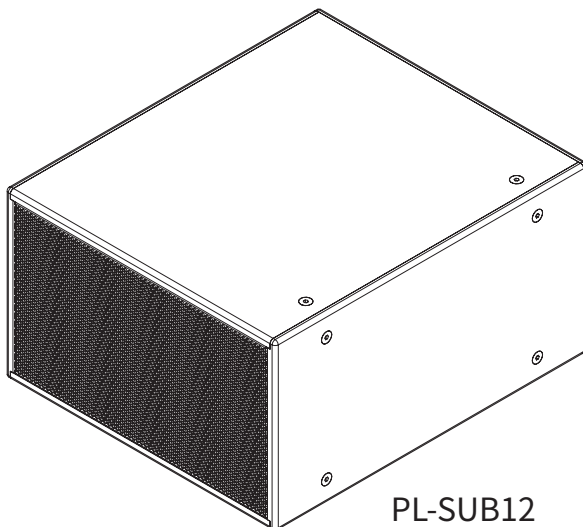
パッシブ設置型サブウーファー



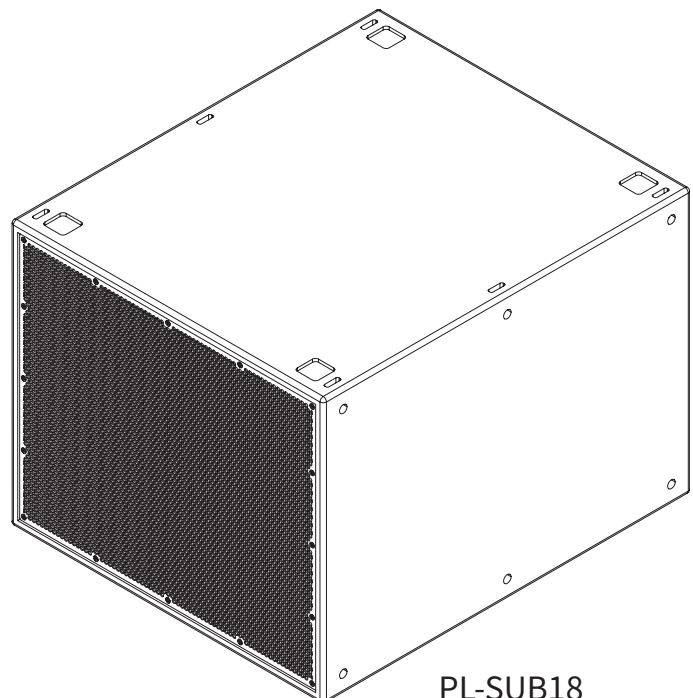
PL-SUB10



PL-SUB15



PL-SUB12



PL-SUB18



Contents

記号の説明	4
安全性に関する重要な指示	4
RoHS指令	5
安全規則と保護等級	5
保証	5
吊り下げに関する一般規則	6
衝撃荷重	6
はじめに	7
主な特長と技術	7
屋外での配置	7
同梱物	8
PL-SUB10 サブウーファー	8
PL-SUB12 サブウーファー	8
PL-SUB15 サブウーファー	9
PL-SUB18 サブウーファー	9
アクセサリ (別売)	10
PL-SUB10 / PL-SUB12の特長	11
PL-SUB15の特長	12
PL-SUB18の特長	13
PL-LA12-AFアレイフレーム	13
取り付けオプションと配置	14
PL-SUB15/ PL-SUB1カーディオイド構成	14
背面同士	14
スタック	14
横並び	14
3ボックスカーディオイドシステム	15
ケーブルマネジメントとフェイクグリル (PL-SUB18 のみ)	15
PL-SUB18を2台スタックする	16
グラウンド設置 (PL-SUB15+PL-CA12)	17
垂直フライング設置 (PL-SUB10 / PL-SUB12 / PL-SUB15)	18
水平フライング設置 (PL-SUB10 / PL-SUB12 / PL-SUB15)	18
フレーム付き水平フライング設置 (PL-SUB15)	19
フレーム付き水平フライング設置 (PL-SUB15+PL-CA12)	19
PL-SUB18をPL-LA12-AFアレイフレームにフライング設置する	21
PL-SUB18をPL-SUB18の下に取り付ける	22
アレイフレームなしでPL-SUB18を1台吊り下げる	23

入力接続..... 23

オプションの入力カバーの取り付け 24

 ウェザーカバーを使用するには..... 24

システムアンプ 25

 システム処理..... 25

 アンプチャンネルあたりのラウドスピーカー数..... 25

 ナレッジベース26

 カスタマーサポート..... 26

 保証 26

記号の説明

用語「警告!」 作業者の安全に関する指示です。これらの指示に従わないと、怪我をしたり、死に至る可能性があります。

用語「注意!」 物理的な機器への損傷の可能性に関する指示です。これらの指示に従わないと、保証の対象とならない機器への損傷が生じる可能性があります。

用語「重要!」 手順を遂行するための重要な指示または情報です。

用語「注記」は、役に立つ付加情報です。



三角形の中の矢印記号の付いた稲妻マークは、人が感電するリスクとなるような絶縁されていない危険な電圧が製品エンクロージャーに存在することをユーザーに対して注意喚起しています。



三角形の中の感嘆符は、マニュアル内において安全性、操作および保守整備に関する重要な指示があることをユーザーに対して注意喚起するものです。

安全性に関する重要な指示



警告!: 1人でラウドスピーカーを持ち上げることはできますが、持ち上げる際に正しい方法で行うことが重要です。
参考文献: OSHA技術マニュアル (OTM) > 腰の障害及び損傷: <https://www.osha.gov/otm/>

1. この指示書を読み、守り、保管してください。
2. すべての警告に従ってください。
3. 乾いた布のみを使って清掃してください。
4. 熱を発生するラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の器具（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
5. メーカー指定の付属品／アクセサリのみを使用してください。
6. すべての整備は、資格を持つ整備士に依頼してください。
7. 現地のすべての適用基準に従ってください。
8. 物理的な機器の設置に関して懸念や疑問が生じた場合は、認可を受けた専門技術者に相談してください。
9. 本製品の吊り下げは、安全なリギング作業手順に従って有資格者が行ってください。その他の制限が適用される場合があります。
10. 本取扱説明書の指示に従い、本製品に使用することを意図した推奨システム構成部品と吊り金具のみを使用してください。
11. Q-SYSサスペンション・ハードウェアを本取扱説明書の範囲外の目的で使用しないでください。



警告! 設置説明書をよく読み、それに従ってください。これらの製品が適切に吊り下げられていない場合、落下して人身事故や死亡事故、装置の損傷を引き起こす可能性があります。吊り方については取扱説明書を参照してください。

RoHS指令

Q-SYS PLシリーズラウドスピーカーは欧州RoHS指令に準拠しています。

Q-SYS PLシリーズラウドスピーカーは「中国RoHS」指令に準拠しています。以下の表は、中国およびその地域で製品を使用するためのものです。

部品名称 (部品名)	Q-SYS PL シリーズ					
	有害物質 (有害物質)					
	鉛 (鉛)	汞 (水銀)	鎘 (カドミウム)	六価クロム (六価クロム)	多溴联苯 (多臭素化ビ フェニル)	多溴二苯醚 (ポリ臭素化 ジフェニルエー テル)
电路板组件 (PCBアセンブリ)	X	O	O	O	O	O
机壳装配件 (シャーシアセン ブリ)	X	O	O	O	O	O

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

(目前由于技术或经济的原因暂时无法实现替代或减量化。)

この表は、SJ/T 11364の要件に従って作成されています。

O: 該当部品の均一材料すべてにおいて該当物質の濃度が、GB/T 26572に規定される関連しきい値よりも低いことを示しています。

X: 該当部品の均一材料のうち、少なくともいずれか一つにおいて、該当物質の濃度が、GB/T 26572に規定される関連しきい値よりも高いことを示しています。

(同梱物の交換および削減は、技術的または経済的な理由で、現在実現できません。)

安全規則と保護等級

本マニュアルに記載されている製品構成は、以下の規制および規格に準拠するように設計およびテストされています：

- 2001/95/EC 一般製品安全指令
- EN 62368-1
- IEC 60529 IP54

PL-SUB18 + PL-LAのリギングに関する追加認証については、PL-LAのマニュアルを参照してください。

保証

Q-SYSの限定保証書については、Q-SYSのウェブサイトwww.qsys.comをご覧ください。



注記： この説明書をよく読み、それに従ってください。ラウドスピーカーが適切に吊り下げられていない場合、落下して人身事故や死亡事故、装置の損傷を引き起こす可能性があります。吊り方のルールについては、ユーザーマニュアルの「フライング設置」の章を参照してください。

吊り下げに関する一般規則

- 音響システムを設置する管轄区域の免許を持つ、専門の機械技術者または構造技術者に相談し、建物や構造物へのすべての取り付けを確認、検証、承認してもらってください。
- 機器の吊り上げ、位置決め、支持構造物への取り付けは、認定を受けた専門の取り付け技術者に依頼してください。
- 音響システムの吊り下げと配置には、すべての吊り金具と部品を正しく使用することが不可欠です。
- 機器を吊り下げる会場の吊り下げ荷重に関する要件を十分に理解するために、地域の法規制を参照してください。
- ラウドスピーカーを配置する際は、専用のPL-SUBアクセサリのみを使用してください。詳細は以下をご覧ください。
- 吊り下げられた荷重を支える構造部材の完全性を確認してください。目に見えない構造部材には、目に見えない構造的弱点がある可能性があります。
- 思い込みは禁物です！ オーナーやサードパーティが用意した吊り具の取り付けポイントは、荷重を吊り下げるのに適切でない場合があります。
- 吊り上げる前に、必ずすべての構成部品（エンクロージャー、吊り下げブラケット、ピン、フレーム、ボルト、ナット、スリング、シャックルなど）に関してアセンブリの強度を低下させる可能性のある亀裂、摩耗、変形、腐食、欠落、緩み、破損部品がないかどうかを確認してください。摩耗した部品、欠陥のある部品、疑わしい部品はすべて廃棄し、新しい適切な定格荷重の部品と交換してください。

衝撃荷重

荷重が移動したり停止したりすると、その静荷重は増大します。急激な動きは、静荷重を数倍にすることがあります。これは「衝撃荷重」と呼ばれます。

衝撃荷重の影響は瞬時に現れることもあれば、検出されないこともあります。衝撃荷重に対する適切な準備には、入念な計画と、機器、吊り下げ、吊り上げの方法に関する知識が必要です。衝撃荷重は多くの場合、吊り上げと設置の結果生じますが、自然の力（風、地震など）により、静的荷重の数倍の衝撃荷重が生じることもあります。

衝撃荷重は機器や作業員に危険をもたらします。このため、構造物や吊り具には、吊り具の重量の数倍を支える能力が求められます。

はじめに

Q-SYS PL-SUBファミリーはパッシブ設置型サブウーファーで構成され、エンターテインメントや小規模なスポーツ会場から企業の講堂や高等教育機関の講義室まで、幅広い用途に適したコンパクトなフォームファクターの耐候性木製エンクロージャーを特長としています。4つのモデル(10インチ、12インチ、15インチ、18インチ)が豊富な選択肢を提供し、より高性能なオーディオを必要とする会場のどこにでも適切なソリューションを提供します。

主な特長と技術

- 最適な柔軟性を実現する4つのモデル
- 屋内および屋外の保護された環境用の耐候性 (IP54) 木製エンクロージャー
- Q-SYS CX-Qネットワーク・アンプと組み合わせることで、カスタムボイシングとフィルターセットによる高度なシステム最適化が可能

屋外での配置

この機器は、保護された屋外環境で遭遇する気象条件に耐えるように設計されています。ラウドスピーカーを保護するため、必ずカバーの下に設置してください。海辺の近くや腐食の激しい環境での直接設置は推奨されません。

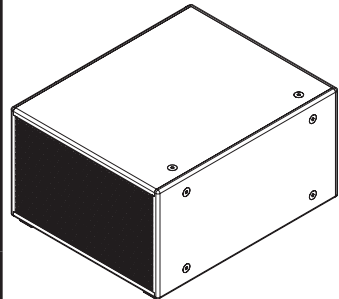
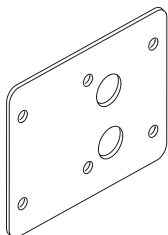
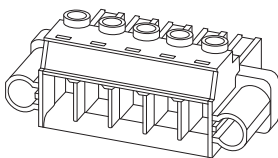
グリルはメッシュで保護され、ポートへの水の浸入を防ぎますが、ラウドスピーカーを下方に5°傾けて設置し、浸水した水が重力によってラウドスピーカーの外に出るようにすることをお勧めします。

このラウドスピーカーの特長は以下の通りです：

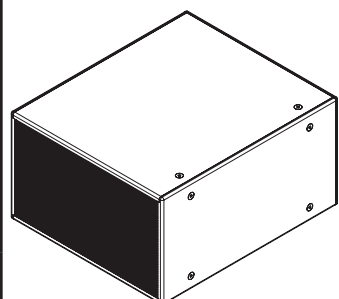
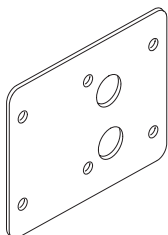
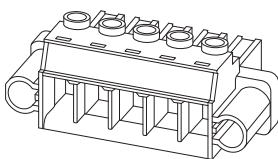
- IP54
- 外部合板
- ステンレスネジ
- 紫外線と腐食に強い処理済みグリル
- グリル裏の撥水性ステンレスメッシュ
- ポリウレタ塗料
- 入力カップ (IP65) シール付きのグラウンド

同梱物

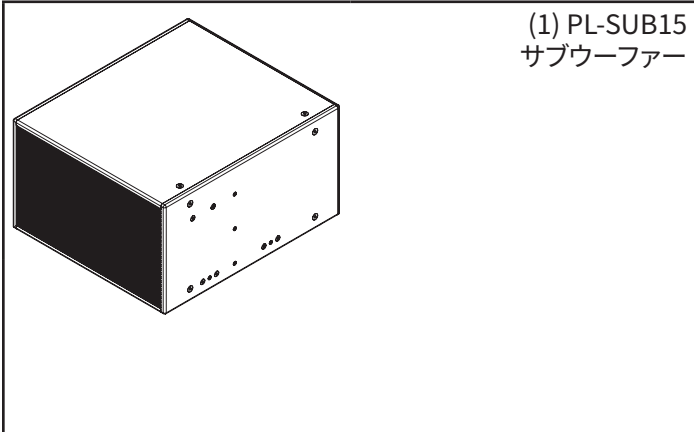
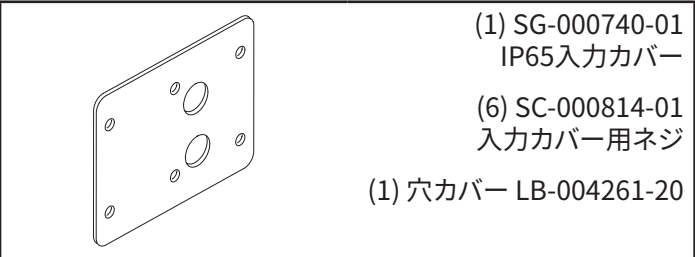
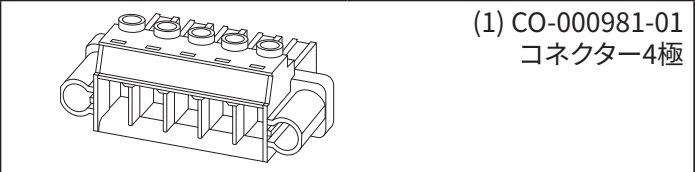
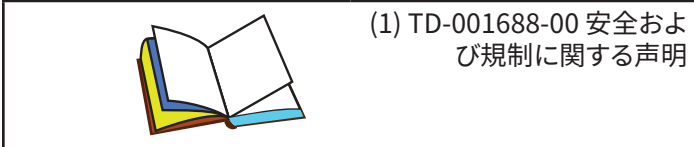
PL-SUB10 サブウーファー

	(1) PL-SUB10 サブウーファー	 (1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ (1) 穴カバー LB-004261-20
		 (1) CO-000981-01 コネクター4極
	(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明	 (1) 保証書

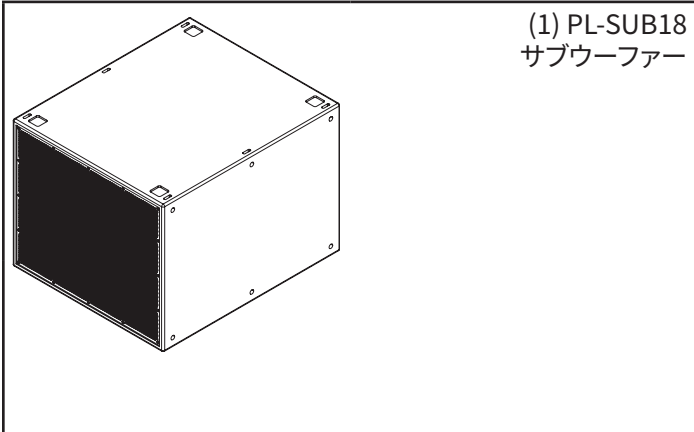
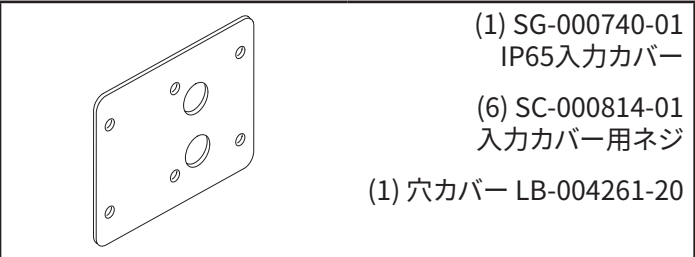
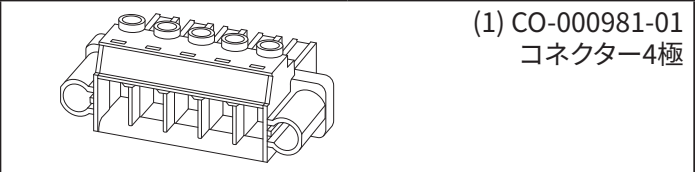
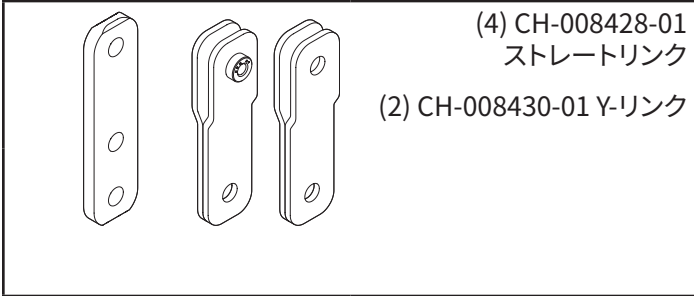
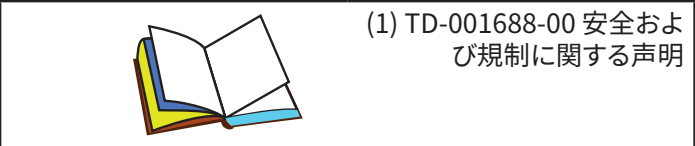
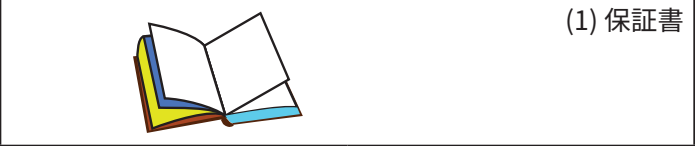
PL-SUB12 サブウーファー

	(1) PL-SUB12 サブウーファー	 (1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ (1) 穴カバー LB-004261-20
		 (1) CO-000981-01 コネクター4極
	(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明	 (1) 保証書

PL-SUB15 サブウーファー

	(1) PL-SUB15 サブウーファー	 (1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ (1) 穴カバー LB-004261-20
		 (1) CO-000981-01 コネクタ4極
	(1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明	 (1) 保証書

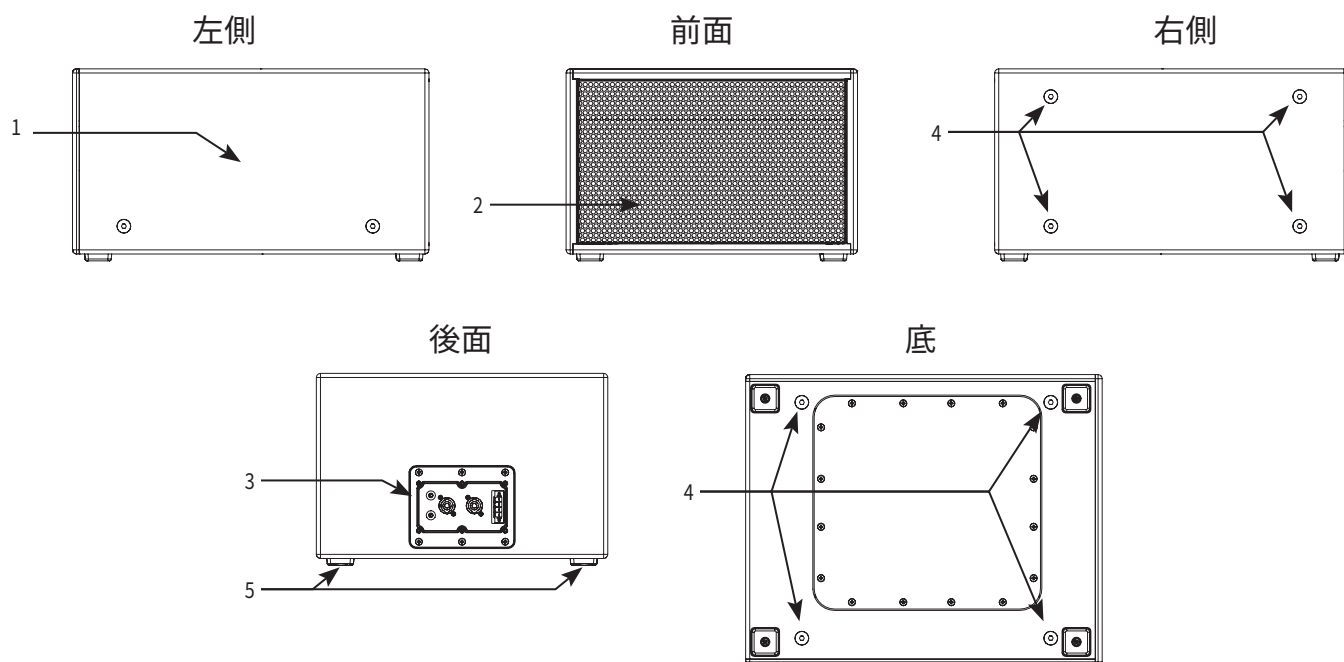
PL-SUB18 サブウーファー

	(1) PL-SUB18 サブウーファー	 (1) SG-000740-01 IP65入力カバー (6) SC-000814-01 入力カバー用ネジ (1) 穴カバー LB-004261-20
		 (1) CO-000981-01 コネクタ4極
	(4) CH-008428-01 ストレートリンク (2) CH-008430-01 Y-リンク	 (1) TD-001688-00 安全および規制に関する声明
		 (1) 保証書

アクセサリー (別売)

(1) PL-SUB15-AF サスペンションフレーム (4) PL-003593-01 スペーサー (2) NW-000360-01 アイナット、M8、ID 20MM、OD 36MM + SC-000833-01 ボルト+ウォッシャー (4) SC-000834-01 ネジ (M8x25)	(2) PL-CA12-LK、サブリンク (2) PL-003591-01 スペーサー (2) PL-003592-01 スペーサーヨーク (4) SC-000834-01 ネジ、M8 25 MM (2) SC-000826-02 ショルダーネジ
FG-000974-00 M10 KIT-S PL-SUB10, PL-SUB12, PL-SUB15 (4) ショルダーアイボルト M10 35 mm-38 mm	

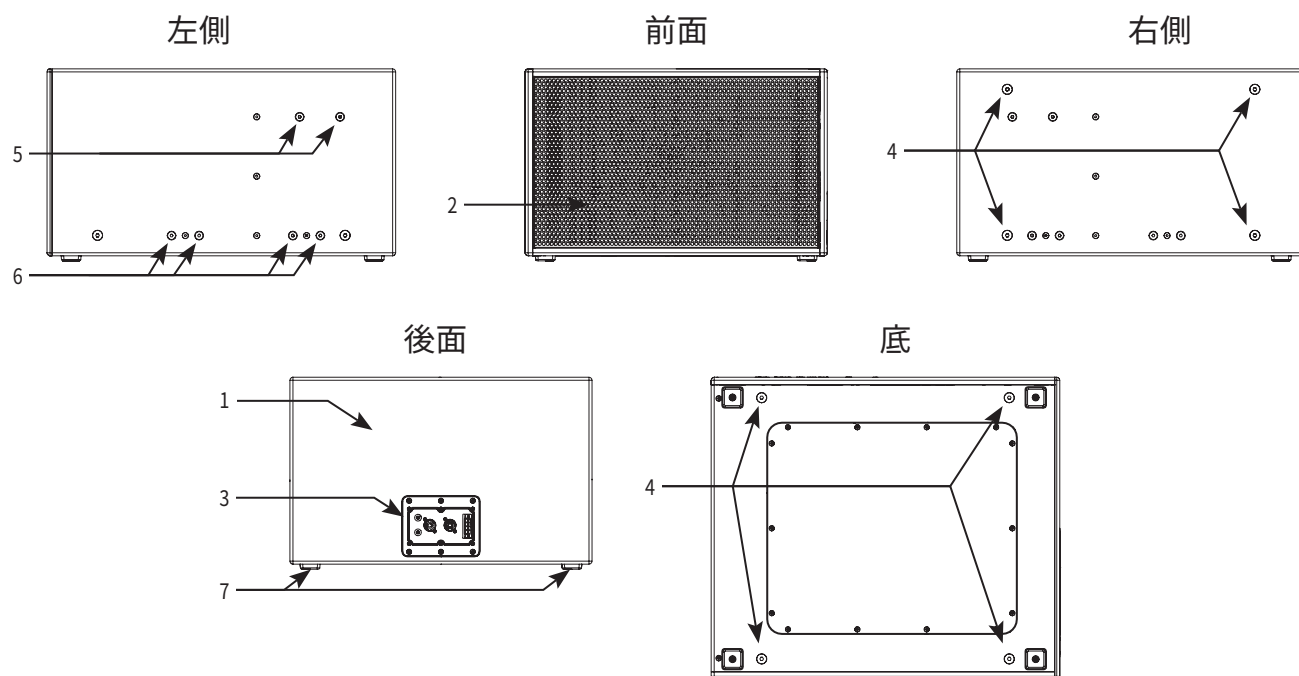
PL-SUB10 / PL-SUB12の特長



— 図1 —

1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. M10吊り下げポイント
5. 滑り止めフィート

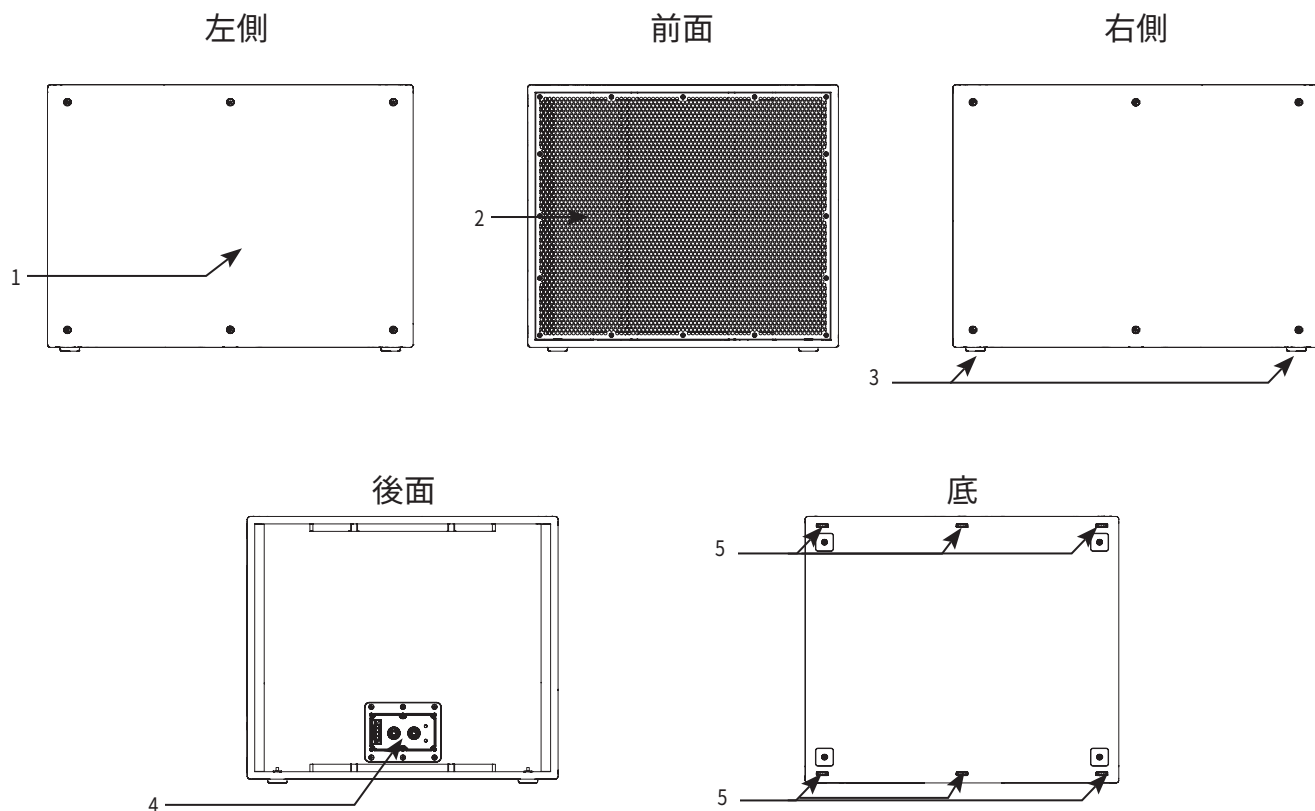
PL-SUB15の特長



— 図2 —

1. 木製エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. リアパネル入力カップ
4. M10吊り下げポイント
5. PL-CA12へのリンク用M8吊り下げポイント
6. サスペンションフレーム用M8吊り下げポイント
7. 滑り止めフィート

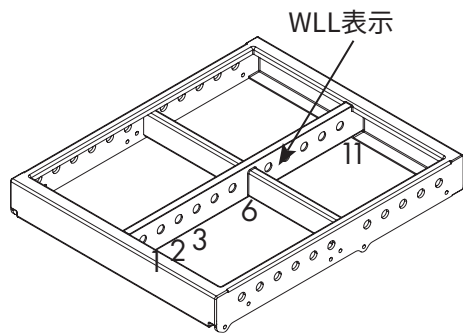
PL-SUB18の特長



— 図3 —

1. 外部合板エンクロージャー
2. 耐候性スチールグリル
3. 滑り止めフィート
4. リアパネルの入力カップと作業荷重制限 (WLL) 表示
5. 統合リギングシステム

PL-LA12-AFアレイフレーム



注記: PL-SUB18のPL-LAでの配置に関する詳細は、PL-LAのユーザーマニュアルを参照してください。

取り付けオプションと配置

PL-SUB15/ PL-SUB1カーディオイド構成

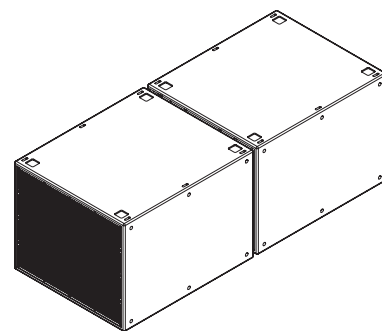
PL-SUB15またはPL-SUB18 サブウーファーを2台以上配置し、カーディオイド放射パターンになるように構成することができます。カーディオイド動作に必要な処理は、各PL-SUB Q-SYS Designer Software Inventoryブロックにすでにプログラムされています。前方（客席方向）を向いている各サブウーファーについては、OMNI プロパティを選択します。客席に背を向ける各サブウーファーには、プロパティメニューでCARDIOを選択します。両方のサブウーファーに同じオーディオ信号を入れ、それぞれに同じゲインを設定します。Q-SYSのオンラインマニュアルを参照してください。

3 カーディオイド構成が可能：

- 背面同士
- スタック型（アレイ状にフライング設置、またはグラウンドスタック）
- 横並び

背面同士

サブウーファーを背面同士に設置すると、後方への音の減衰が15dBとなり、最高のカーディオイド性能を発揮します。サブウーファーの間隔は10cm程度にしてください。

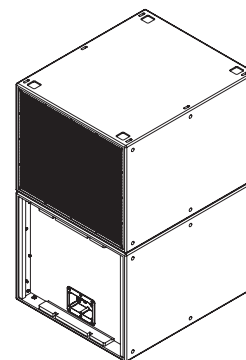


スタック

グラウンドスタックの場合は後ろ向きのサブウーファーを下側に、吊り下げる場合は上側に置きます。（PL-SUB18との組み立てはページ16を参照）。

注記： PL-SUB18のみ、カーディオイド構成で吊り下げることができます。

注記： PL-SUB15にはフットポケットはありません。サブウーファーを重ねる場合は、両方を固定します。



横並び

サブウーファーを横に並べるとスペースを節約できますが、正確なカーディオイドパターンが得られません。カーディオスタックと同じQ-SYS設定を使用してください。

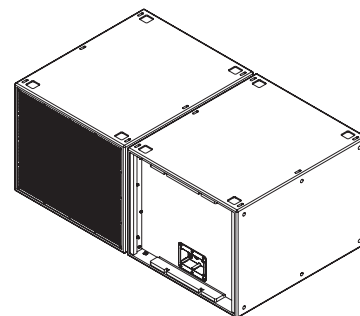


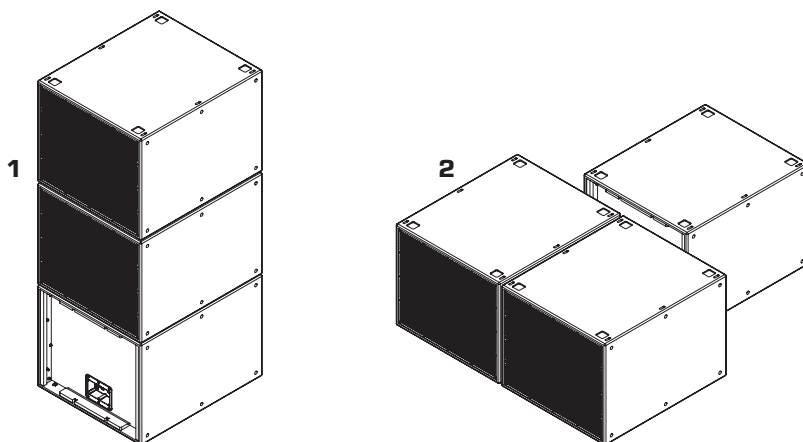
図4

3ボックスカーディオイドシステム

2つの前方向きサブウーファーと1つの後方向きサブウーファーを備えた3ボックスアレイは、前方に追加の音響出力を与えます。

図5 (1)はスタック型3ボックスアレイです。グランドスタックの場合は一番下のサブウーファーを後方に向け、吊り下げる場合は上側に置きます。

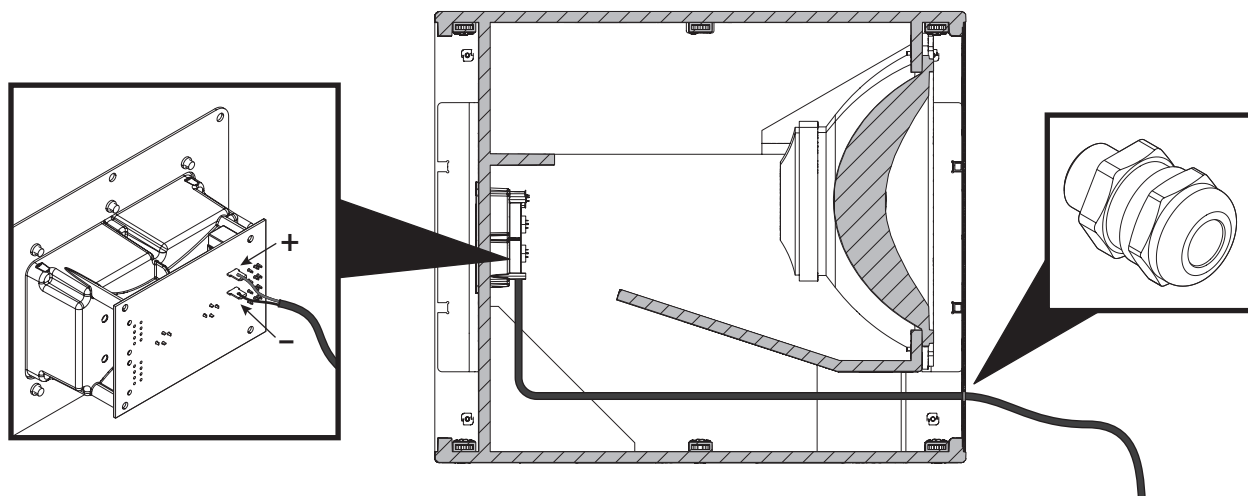
図5 (2)は背面同士の3ボックスアレイです。



— 図5 —

ケーブルマネジメントとフェイクグリル (PL-SUB18 のみ)

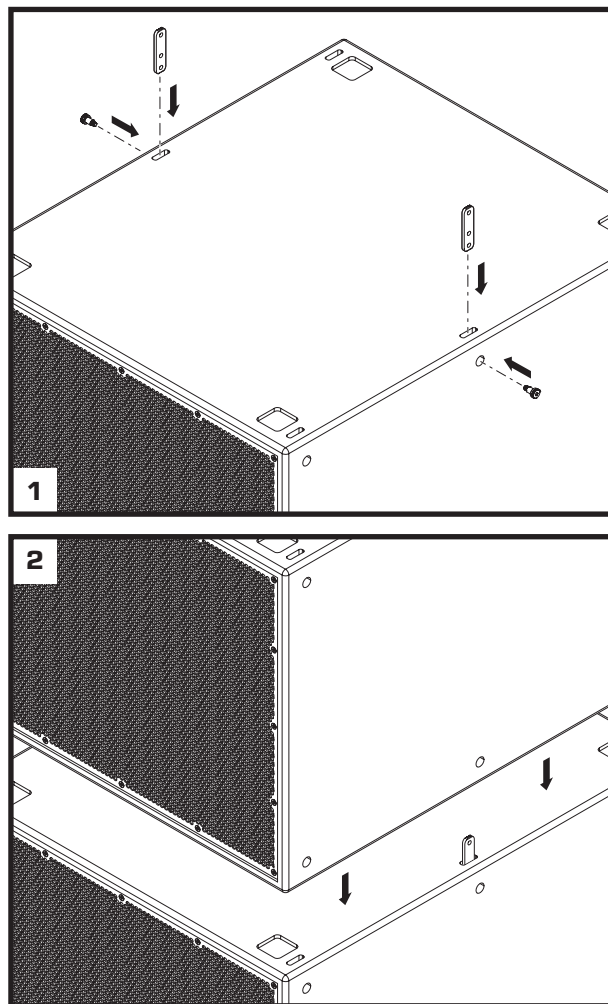
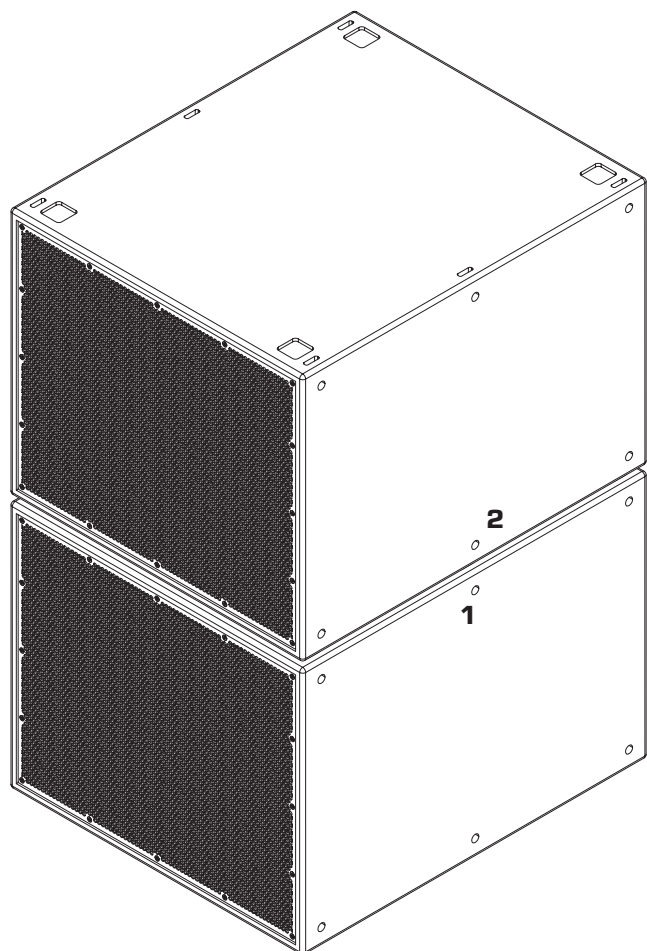
外観を重視する用途では、後ろ向きPL-SUB18の背面に別のグリルを取り付けることができます。この場合、リアパネル接続にはアクセスできなくなるため、下図のように入力ケーブルをポートから入力カップコネクタに通す必要があります。ケーブルをPL-SUB18サブウーファーに通すには、フロントグリルに小さな開口部を作る必要があります。ケーブルはポートの内壁に取り付け、PCBを支える柱の1つに固定することをお勧めします。



— 図6 —

PL-SUB18を2台スタックする

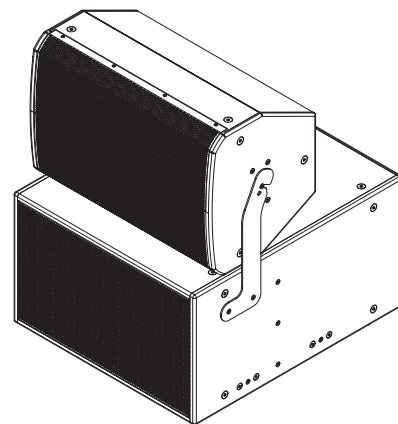
1. 2つのストレートリンクをPL-SUB18の中央のスロットに取り付けます (まだトルクはかけないでください)。
2. 2つ目のPL-SUB18を1つ目のPL-SUB18の上に置きます。
3. 付属のボルトで11.3 N・m (100 lbf・in) のトルクをかけます。



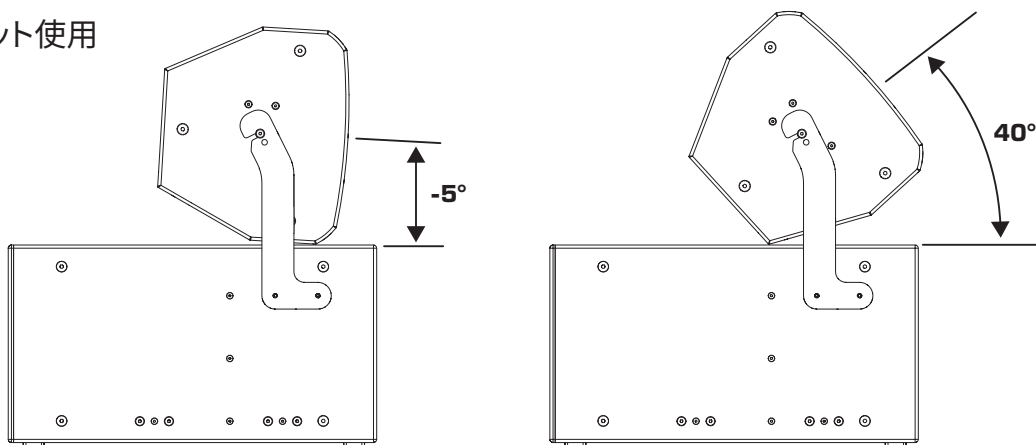
— 図7 —

グランド設置(PL-SUB15+PL-CA12)

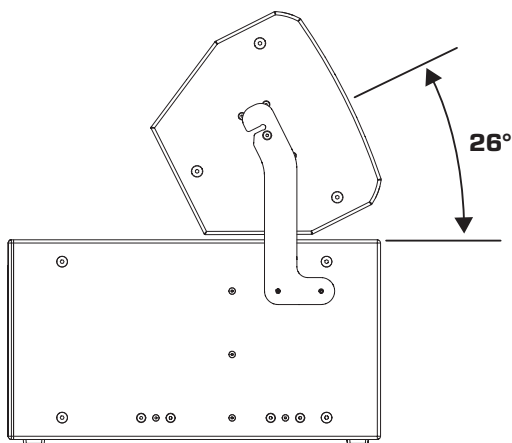
1. PL-CA12 ラウドスピーカーのヨーク穴にM8ネジを挿入します。
2. 付属のM8x25ネジを使用して、PL-SUB15にPL-CA12-LKリンクを取り付けます。
3. M8ネジをブラケット溝に挿入して、ラウドスピーカーをブラケットに掛けます。
4. ラウドスピーカーの角度を決めます。スロットを使用する場合は、スピーカーを -5° から $+40^{\circ}$ の範囲で角度調整できます。穴を使用する場合は、ラウドスピーカーを $+26^{\circ}$ の範囲で角度調整できます。



スロット使用



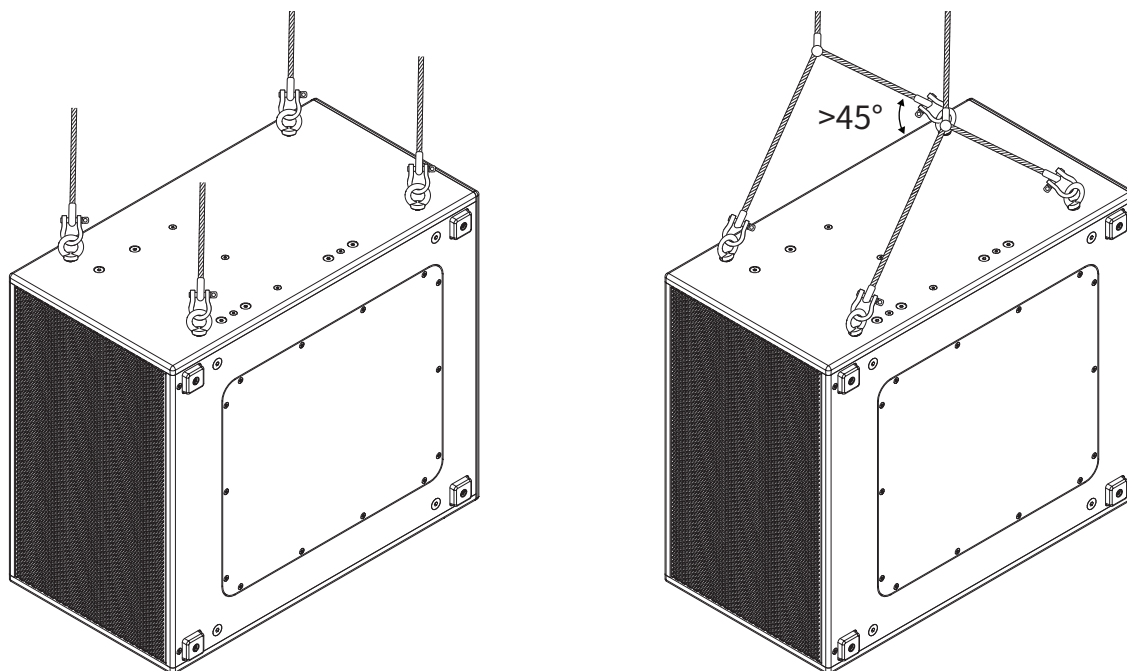
穴使用



— 図8 —

垂直フライング設置 (PL-SUB10 / PL-SUB12 / PL-SUB15)

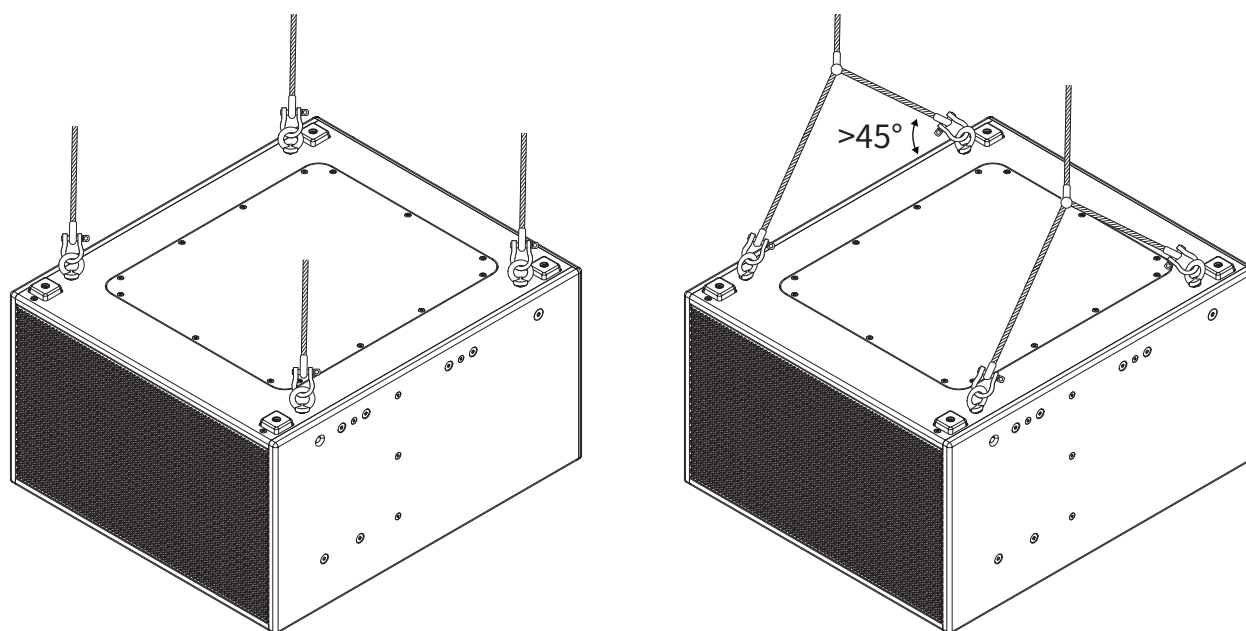
1. M10の吊り下げポイントにアイボルトを取り付けます。
2. まっすぐに取りつけるか、ブライドルをサブウーファーの側面に取り付け、上面の角度が 45° を超えるようにします。



— 図9 —

水平フライング設置 (PL-SUB10 / PL-SUB12 / PL-SUB15)

1. SUBの底面のM10の吊り下げポイントにアイボルトを取り付けます。
2. まっすぐに取りつけるか、ブライドルをサブウーファーの側面に取り付け、上面の角度が 45° を超えるようにします。

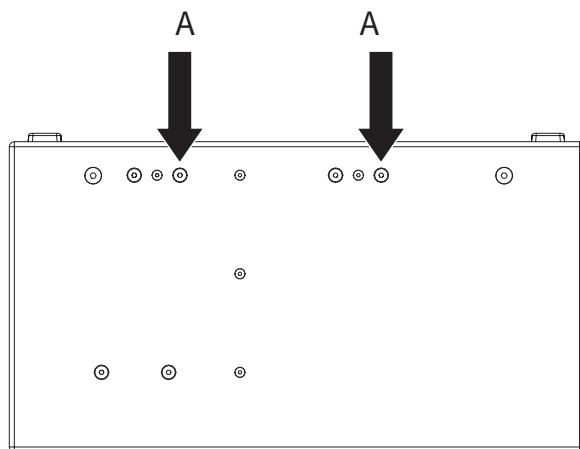
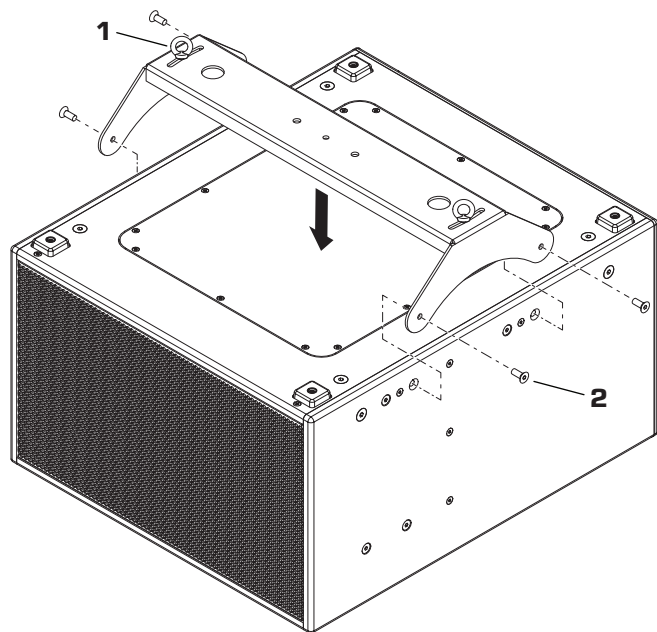


— 図10 —

フレーム付き水平フライング設置 (PL-SUB15)

1. フレームに付属のボルトでM8アイナットを取り付けます。
2. サスペンションフレームをエンクロージャー (A) に取り付け、付属のM8x25ネジで固定します。

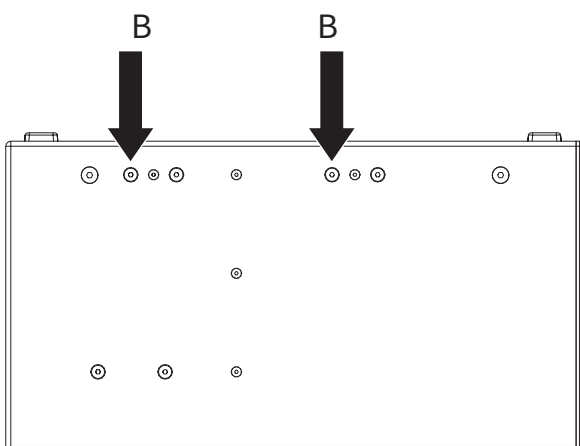
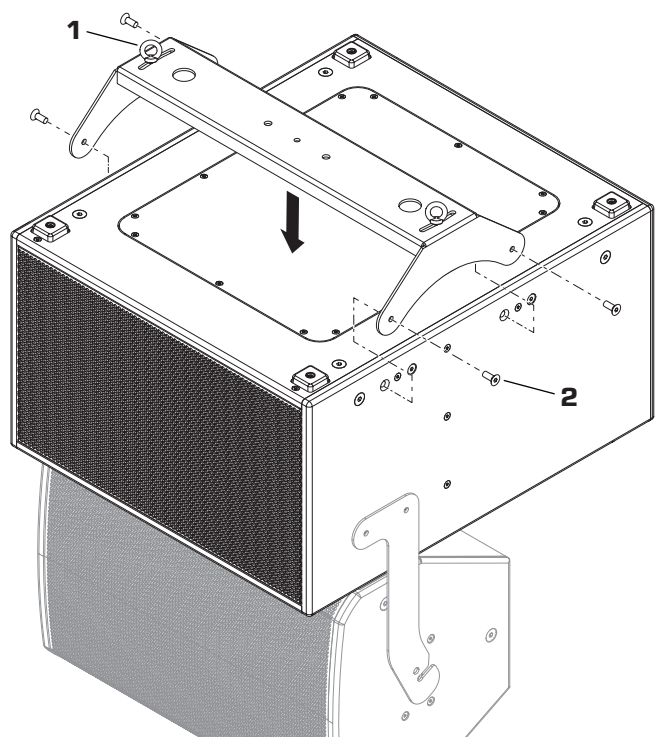
注記: サスペンションフレームは、単独で使用する場合もPL-CA12をサポートする場合も、同じM8穴を使用しません。



— 図11 —

フレーム付き水平フライング設置 (PL-SUB15+PL-CA12)

1. フレームに付属のボルトでM8アイナットを取り付けます。
2. サスペンションフレームをエンクロージャー (B) に取り付け、付属のM8x25ネジで固定します。



— 図12 —

3. 付属のM8x25ネジを使用して、PL-SUB15にPL-CA12-LKリンクを取り付けます。
4. PL-CA12 ラウドスピーカーのヨーク穴にM8ネジを挿入します。
5. M8ネジをブラケット溝に挿入して、ラウドスピーカーをブラケットに掛けます。
6. ラウドスピーカーの角度を決めます。スロットを使用する場合は、スピーカーを-5°から+40°の範囲で角度調整できます。穴を使用する場合は、スピーカーを+26°の範囲で角度調整できます。

注記: サスペンションフレームは、単独で使用する場合はPL-CA12をサポートする場合も、同じM8穴を使用しません。

注記: PL-SUB15サブウーファースの内部にあるプレートにより、サスペンションフレームからPL-CA12ラウドスピーカーまでの金属的連続性が確保されています。

警告!! PL-SUB15の下にPL-CA12を設置する際は、M10のリギングポイントを使用しないでください。この場合、金属的連続性は存在しません。

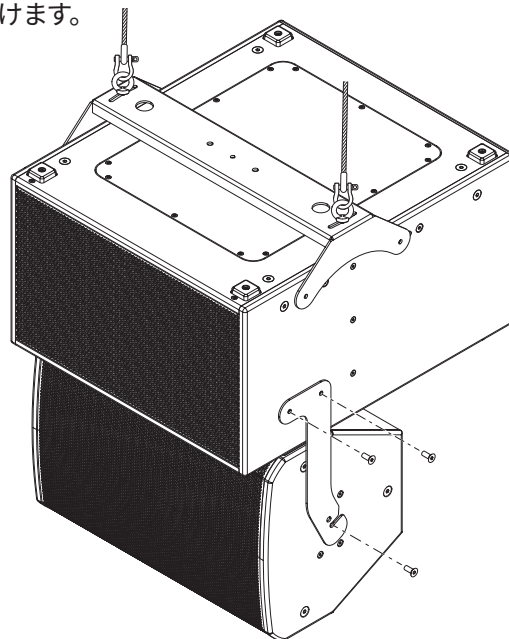
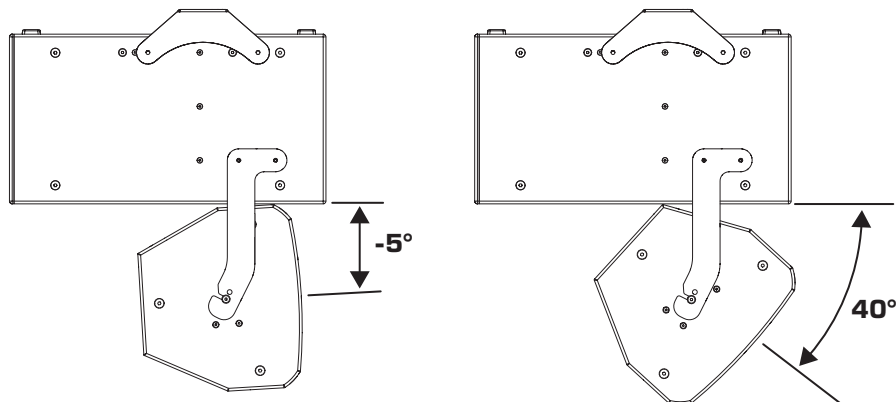
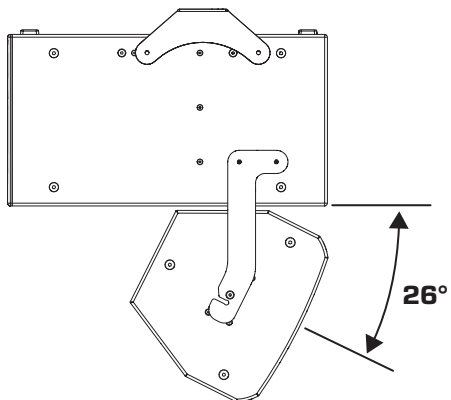


図13

スロット使用



穴使用



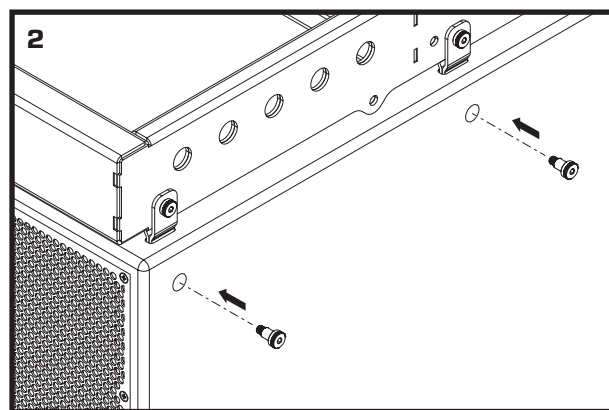
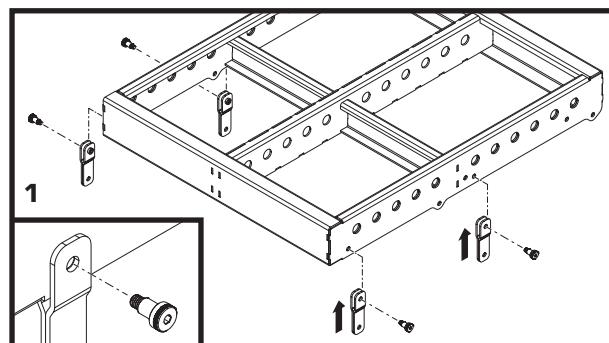
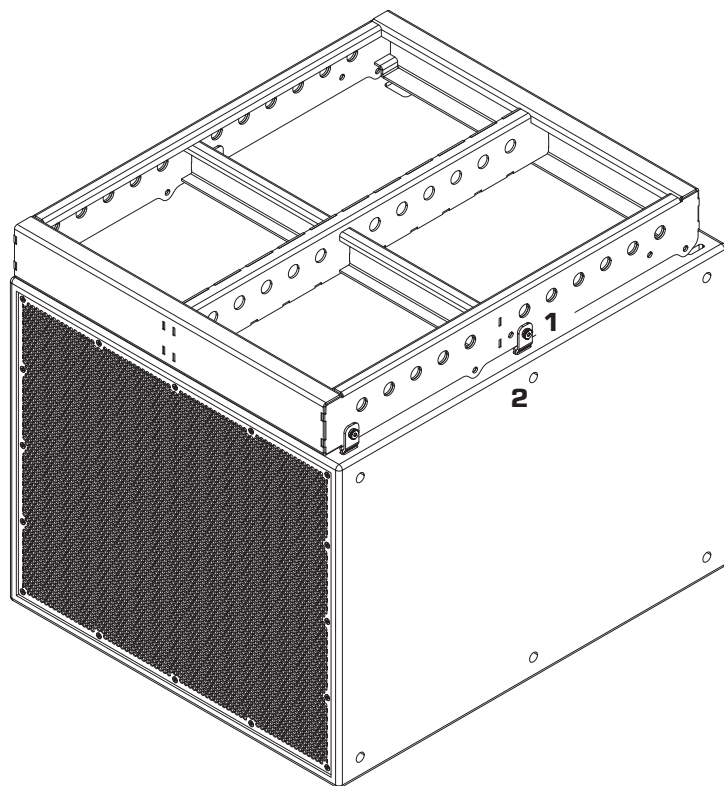
— 図14 —

PL-SUB18をPL-LA12-AFアレイフレームにフライング設置する

1. アレイフレームにインターコネクトYリンクを取り付けます。前面に2つ、中央に2つのリンクを取り付けます。

注記: Yリンクのナット側は常にアレイの内側に配置されます。

2. リンクをPL-SUB18に挿入します。
3. ボルトを締めて固定します。11.3N・m (100lbf・in) のトルクで締めます。

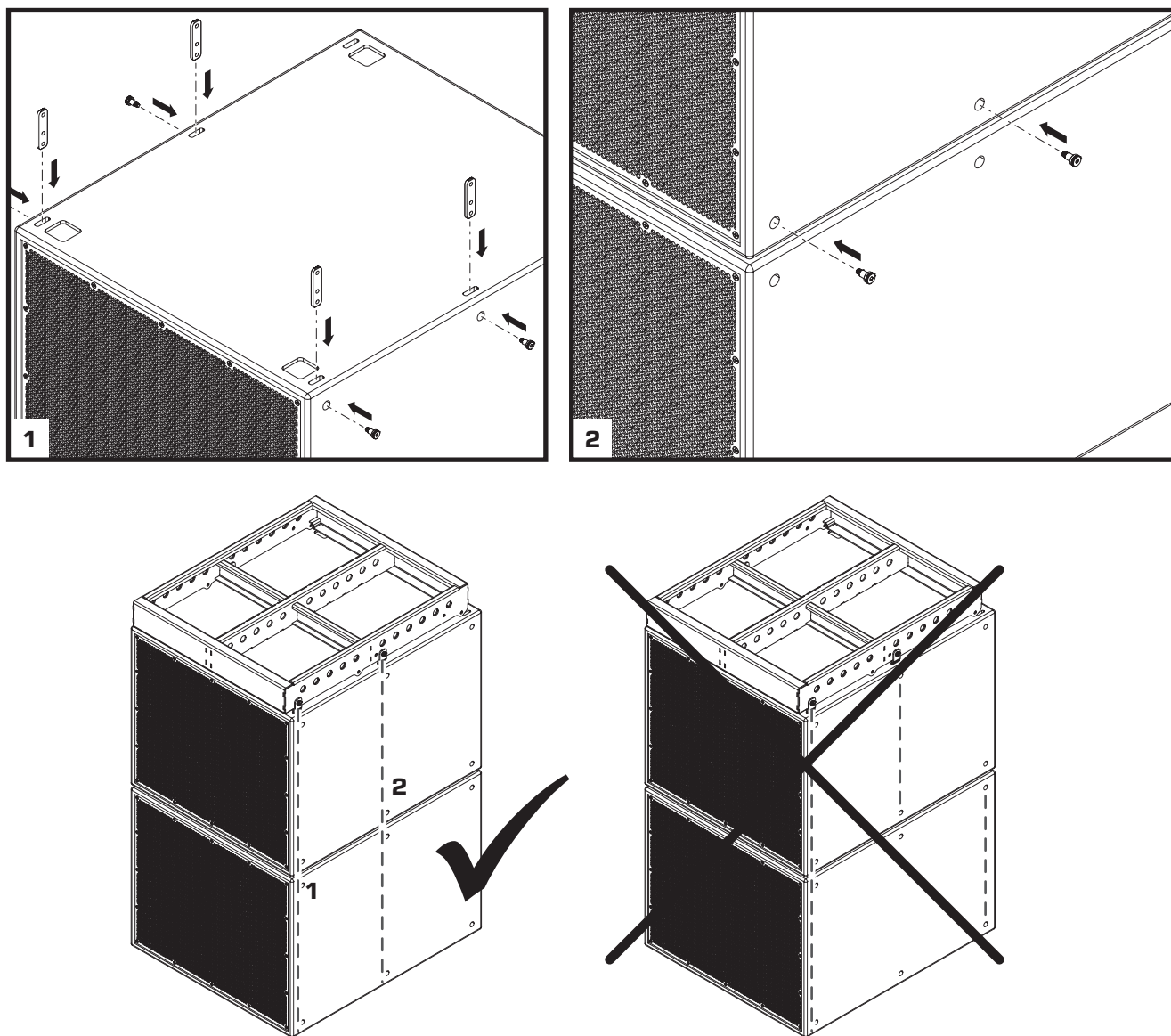


— 図15 —

PL-SUB18をPL-SUB18の下に取り付ける

1. インターコネクトストレートリンクをPL-SUB18に挿入します。必ず前面に2本、中央に2本挿入してください。ストレートリンクが常にフレームアタッチメントと一直線になるようにします。
2. 下のPL-SUB18の上から上のPL-SUB18のベースにリンクを取り付けます。
3. 下側のPL-SUB18が上側のPL-SUB18に正しく固定されるように、4本のボルトに11.3 N・m (100 lbf・in) のトルクをかけます。

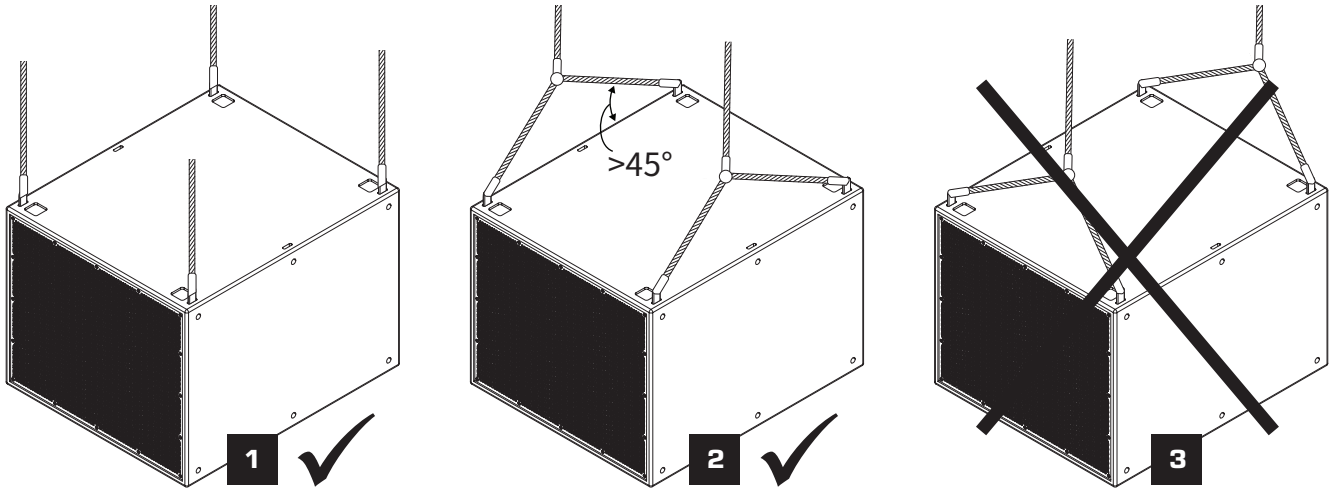
注記:PL-SUB18サブウーファーの内部にある支柱により、アレイフレームからPL-LA12ラウドスピーカーまでの金属的連続性が確保されています。(図16の点線参照)。



— 図16 —

アレイフレームなしでPL-SUB18を1台吊り下げる

1. 8mmのピンシャフトが付いた1/4インチのシャックル4個を、まっすぐな位置でストレートリンクに取り付けます。
2. ブライドルをサブウーファーの側面に取り付け、上面の角度が45°を超えるようにします。
3. サブウーファーの両端にはブライドルを取り付けしないでください。



— 図17 —

入力接続

製品	コネクタ	仕様
PL-SUB10 PL-SUB12 PL-SUB15	• 1 ユーロブロックコネクタ	• 定格電流 32二乗平均平方根アンペア • 単線 8-24 AWG (10mm²まで) • 4極 コネクタ 1+/1- SUB、2-/2+ 接続済み • オス部をM3.5ネジで固定
PL-SUB18	• 2 x SPEAKON NL4 (ケーブルコネクタは付属していません)	• 固定 • 最大30二乗平均平方根アンペア • 最大9-16 AWGゲージ (6 mm²まで) • コネクタは並列に配線されており、デジチェーンTHRU接続が可能
	• 両方のコネクタは凹んでいます。 • このプレートにより、2個のグランドコネクタ (別売) が信号のINとOUTを通すことができます。 • IP65シーリングは、ユーロブロックコネクタ使用時のみ可能です。	

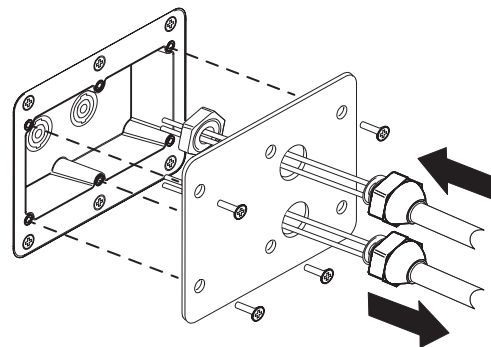
オプションの入力カバーの取り付け

ケーブルの直径は様々であるため、"ケーブルグランド" (直径22.5 mmの穴に適合) を別途調達する必要があります。

サブウーファーには、入力カップ用のウェザーカバーが付属しており、入力接続部やスイッチを降水などの天候による危険から保護します。屋外に設置する場合、またはラウドスピーカーが湿気にさらされる可能性がある場合は、ウェザーカバーを使用してください。ケーブルグランド内の密閉性を確保するため、直径 0.37 インチ (9.4 mm) までの丸型ジャケットの屋外定格ケーブルを使用してください。

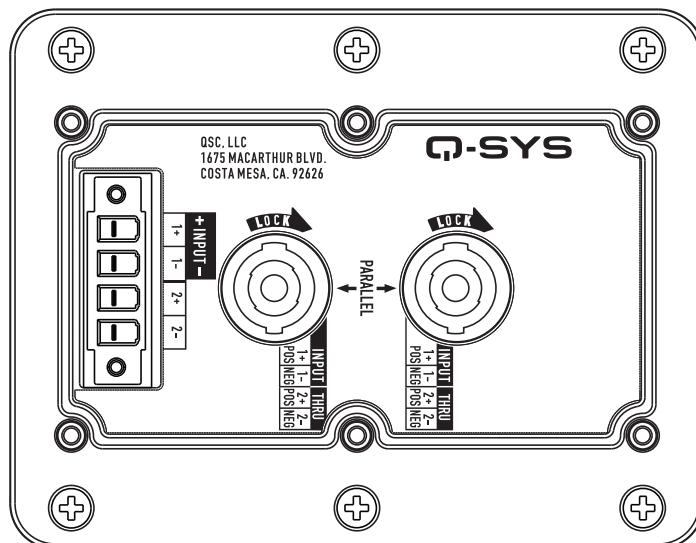
ウェザーカバーを使用するには

1. ケーブルグランドのナットを緩めます。
2. ケーブルをナットとグランドの残りの部分に通します。
3. 入力コネクタをワイヤーに取り付けます (下記「入力コネクタ」参照)。
4. サブウーファーのエンクロージャーを設置したら、入力コネクタをラウドスピーカーの入力カップに差し込みます。2つの留めねじ (両端に1つずつ) を使ってコネクタをラウドスピーカーに固定します。
5. サブウーファーの入力カップにカバーをかぶせ、付属のネジ 4 本、ロックワッシャー、平ワッシャーを使って取り付けます。
6. ケーブルに無理な力が加わらないようにします。グランド内のグロメットがケーブルの被覆に密着するまで、グランドナットを締めます。



オプションの入力カバーは、SPEAKON NL4ではなく、ユーロブロックコネクタにのみ対応しています。

単一の終端のみが必要な場合は、余分な穴を塞ぐために穴カバーLB-004261-20を使用してください。



システムアンプ

PLシリーズは、CXQアンプ（または将来の世代）と組み合わせて使用することを想定しています。正確なモデルは、用途、チャンネルあたりのラウドスピーカー数、ラウドスピーカーのタイプによって異なります。

システム処理

Q-SYS PLシリーズは、Q-SYS CoreプロセッサとCXQアンプのみで使用するよう設計されています。設定の説明については、Q-SYS Designer Softwareの文書(help.qsys.com) を参照してください。

アンプチャンネルあたりのラウドスピーカー数

ラウドスピーカー	CXQ 2K4	CXQ 4K4	CXQ 8K4
PL-SUB10	¹ BTL/ブリッジ	1	2
PL-SUB12	¹ BTL/ブリッジ	1	2
PL-SUB15	-	¹ BTL/ブリッジ	1
PL-SUB18	-	¹ BTL/ブリッジ	1
ゲイン (1.2 V設定)	33 dB	35 dB	38 dB



ナレッジベース

よくある質問、トラブルシューティング情報、ヒント、アプリケーションノートへの回答をご覧ください。Q-SYSヘルプ、ソフトウェアとファームウェア、製品説明書、トレーニングビデオなどのサポートポリシーやリソースへのリンクもあります。サポートケースの作成も可能です。

support.qsys.com

カスタマーサポート

テクニカルサポートおよびカスタマーケアの電話番号と営業時間については、Q-SYSウェブサイトの「お問い合わせ」ページを参照してください。

qsys.com/contact-us/

保証

QSCの限定保証については、こちらをご覧ください：

qsys.com/support/warranty-statement/